

マンガ表現コース

木下裕士

Hiroshi Kinoshita

デザイン学科 助教

所属団体

日本マンガ学会

京都精華大学芸術学部マンガ学科ストーリーマンガ専攻 卒業
マンガ家さそうあぎらのアシスタントを経て、機能マンガを中心に活動。
多くの企業や官公庁にイラストやマンガを提供している。

専門分野

ストーリーマンガ表現・
機能マンガ



あらゆる物事をマンガを使って表現し、社会に情報を発信してゆく。
娯楽だけではない、新しい可能性がそこにはあります。

ストーリーマンガを描くということには、物語を生み出せる経験と知識、魅力的なキャラクターや情景を作り出す描写力、そして限られたページ数の中に物語をまとめる構成力が求められます。また世の中のニーズに合わせた作品を送り出せるセンスも必要とされます。日本で独自に展開・進化し続けてきたマンガの表現は、今や世界中で楽しめる大きなコンテンツとなりました。マンガという表現技法は娯楽用としてのみに留まらず、さまざまな広告やポスター、パンフレットなどにも取り込まれ、人と企業をつなぐ新たなツールとしても求められるものとなっています。

※マンガ表現コースではグラフィックデザインの基礎的な授業も受講します。

マンガの表現は性別や年齢、国籍を超えて
人に届きます。実はマンガって高度な
情報伝達ツールなんです。

木下裕士（助教、マンガ家、イラストレーター）

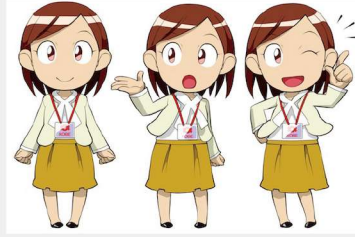
紙の上に並ぶコマやキャラクター、記号や描線が意味を持ち、ページを紡ぐことで作者の考えを的確に伝えてくれる。マンガは「わかりやすさ」「伝える力」に優れた表現媒体。海外でも日本のマンガがヒットする理由がそこにはあります。マンガにはアイデアから物語を生み出す力だけではなく、それを伝えるためのデザインや構成力、技術力が必要とされます。

Manga

Media



マスコットキャラクター



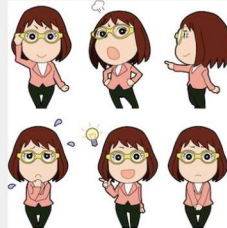
社内QC用キャラクター



キャラクターイラスト



PVアニメキャラクター設定



社内用キャラクター



社内用キャラクター



社内QC用キャラクター

ストーリーマンガ制作だけにとどまらないクリエイターに

マンガ、イラストレーション、アニメーション。この3つは近い存在として広く認識されています。海外で「MANGA」といえばこれら全てを内包する意味になっているほど、密接なつながりがあります。それだけに限らず、現在マンガやアニメを取り巻く環境は様々な業種、業界へと広がっています。クリエイターもまた、多方への活躍が期待されています。自分にはマンガだけ、と一つにこだわらず、近いジャンルのもはもとより全く違う業界にも目を向けて挑戦を続けていきましょう。そうすることで活躍の場をマンガだけにとどめない、多彩な才能を花開かせてください。



イメージングPV



商品紹介アニメーションカット



啓発アニメーション用背景

担当科目「マンガ表現演習1,2」…ペンタッチ、ストーリーマンガ



マンガ原稿用紙やGペン、丸ペン、スクリーントーンなど、専門画材を用いてマンガ制作を行います。つけペンは線の強弱など修練を積み重ねれば思い通りに線を引くことができるようになり、ペンタブレットにも応用できる大切なスキルです。アナログ、デジタル問わず表現できる力をいっしょに身につけましょう。

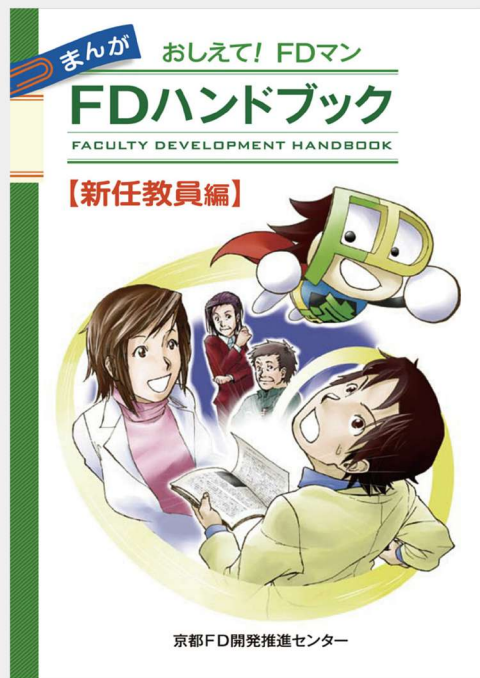
「機能マンガ」という世界

社会の中にある問題や、難解な事柄を解説・提示する。文章で書き起こそうとすると小難しく、長くなってしまいがちなテーマを、マンガに「翻訳」し読みやすく、わかりやすく伝える。そうすることで社会貢献に繋げることが「機能マンガ」の役割です。「機能マンガ」の制作には描く対象への深い理解と、それをマンガとして組み立てる高い構成力が要求されます。対象の取材や調査を通してそれらを養うことは「機能マンガ」のためだけではなく、自身のクリエイターとしての技術力を向上させることにも結びつくでしょう。



マンガ・イラストレーション
デザインスタジオ
Manga & Illustration Design Studio

木下研究室



京都FD開発推進センター

大学教員向けFD推進マンガ



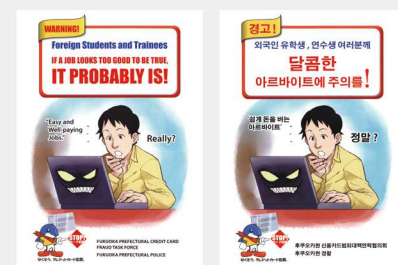
発電所擬人化マンガ 表紙



発電所擬人化マンガ 本文



海外留学生向け防犯マンガ冊子 表紙



医療関係者向け心電図学習マンガ



海外留学生向け防犯マンガ冊子 本文

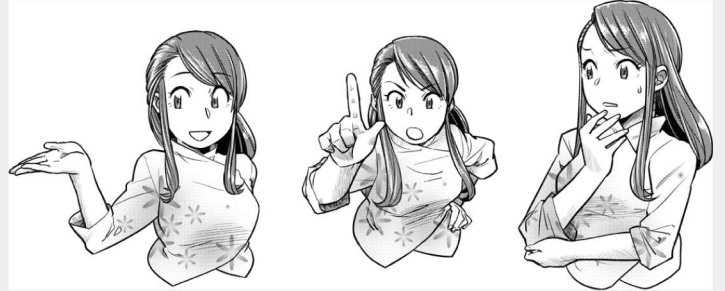


進歩する技術の中に、自分だけの技術を

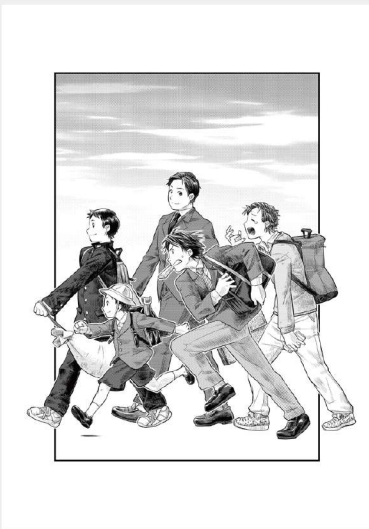
テクノロジーの発達によってマンガの世界も大きく変革しつつあります。
紙とペンからデジタルツールへ。しかし大元である手で描くという部分にはなんら変わりはありません。
日々進歩するマンガ表現をその歴史から学び、身につけ、自分だけのマンガ表現を構築していきましょう。



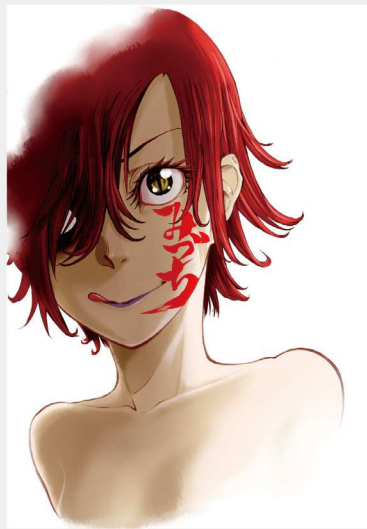
クリスマスカード用イラスト



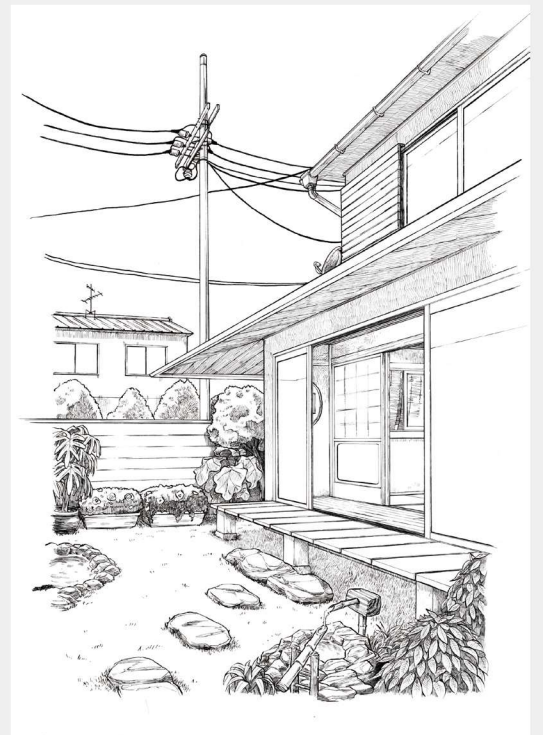
コラム用キャラクターカット



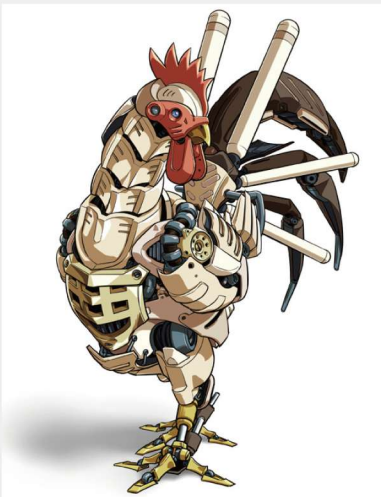
「春」をテーマにしたイラストカット



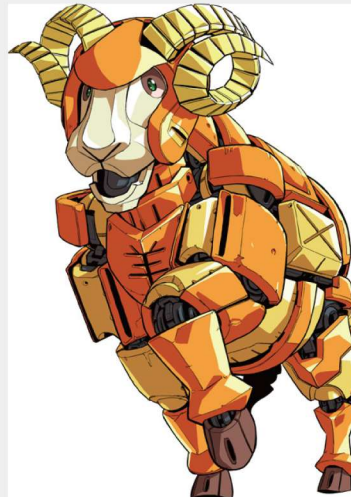
合同作品集「みずち」表紙イラスト



二点透視図法によるマンガ背景作図



干支メカ イラストカット「酉」



干支メカ イラストカット「羊」